

篠原園地の新しい風景をつくる

- ・篠原園地と調和し、時間が経過しても陳腐にならない佇まいの建築を作ります。
- ・広く出回っている流通材を組み上げることで、柱がなく天井の高い大きな1室空間を実現させます。コスト削減を図ると同時に木材の生み出す構造の強靱さや美しさを追求します。世代を超えて親しまれ、愛され、力を与える建築を目指します。
- ・少人数の集まりから総会まで幅広い用途に対応し、集会所の利用を促進させます。
- ・あらゆる利用者にとって使いやすいようバリアフリーに配慮し、災害時の一時避難場所としても機能する安心・安全な集会所とします。



屋根と外壁は
ガルバリウム鋼板
小波板

園路を進むとかわいらしい
切妻屋根が見えてくる

■景観

- ・屋根と壁を黒っぽいガルバリウム鋼板の小波板で包み、6.5寸勾配の切妻屋根のキリッとした輪郭を見せます。
- ・人の活動と自然の良い関係を表すシンボルとして、篠原園地の印象がよりアクティブになるような建築とします。

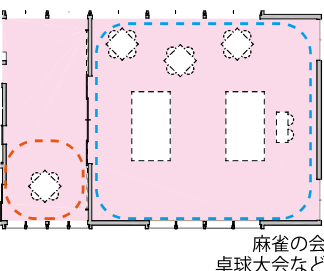
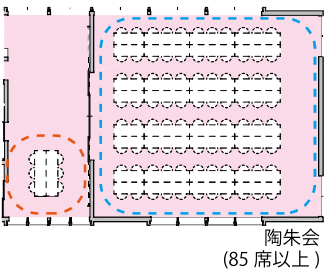
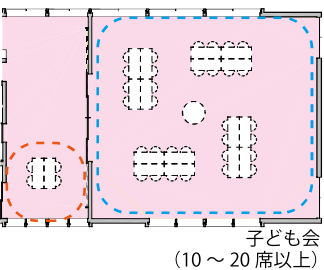
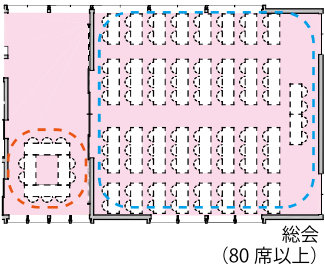
■誰もが利用しやすい平面計画

- ・メインの集会室は柱の無い45畳大のワンルーム空間です。北側の園地を見下ろす位置に大きな開口部を設け、南側には十分な光を取り込む排煙窓も兼ねた高窓を設置します。
- ・天井面には十分な照度を確保するためにLEDのスポットライトを設置し、さらに空間を柔らかく浮かび上がらせるためにボール球のLED照明を吊ります。
- ・床はダンスにも対応する、メンテナンス性に優れた長尺シートとします。
- ・エントランスホールを兼ねた約18畳大の前室のような空間は、少人数での打ち合わせに居心地の良い場所を提供します。
- ・防災倉庫と屋内の収納スペースは行き来でき、十分な収納スペースを確保します。切妻屋根の小屋裏を利用したロフトを設け、小屋裏収納として利用できます。

■バリアフリーに対応した建築

- ・建物入口にはスロープを設け、自治会館の床面は地盤面から30cm程度とできるだけ低く設定し、外部との高低差を少なくします。
- ・公衆トイレや防災倉庫は地盤面から10cmほどの高さに抑え、アプローチしやすい計画とします。
- ・出入り口は引き戸を多用するなど車椅子の方でも移動しやすい計画としています。

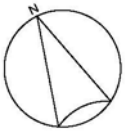
使用例



S=1:300

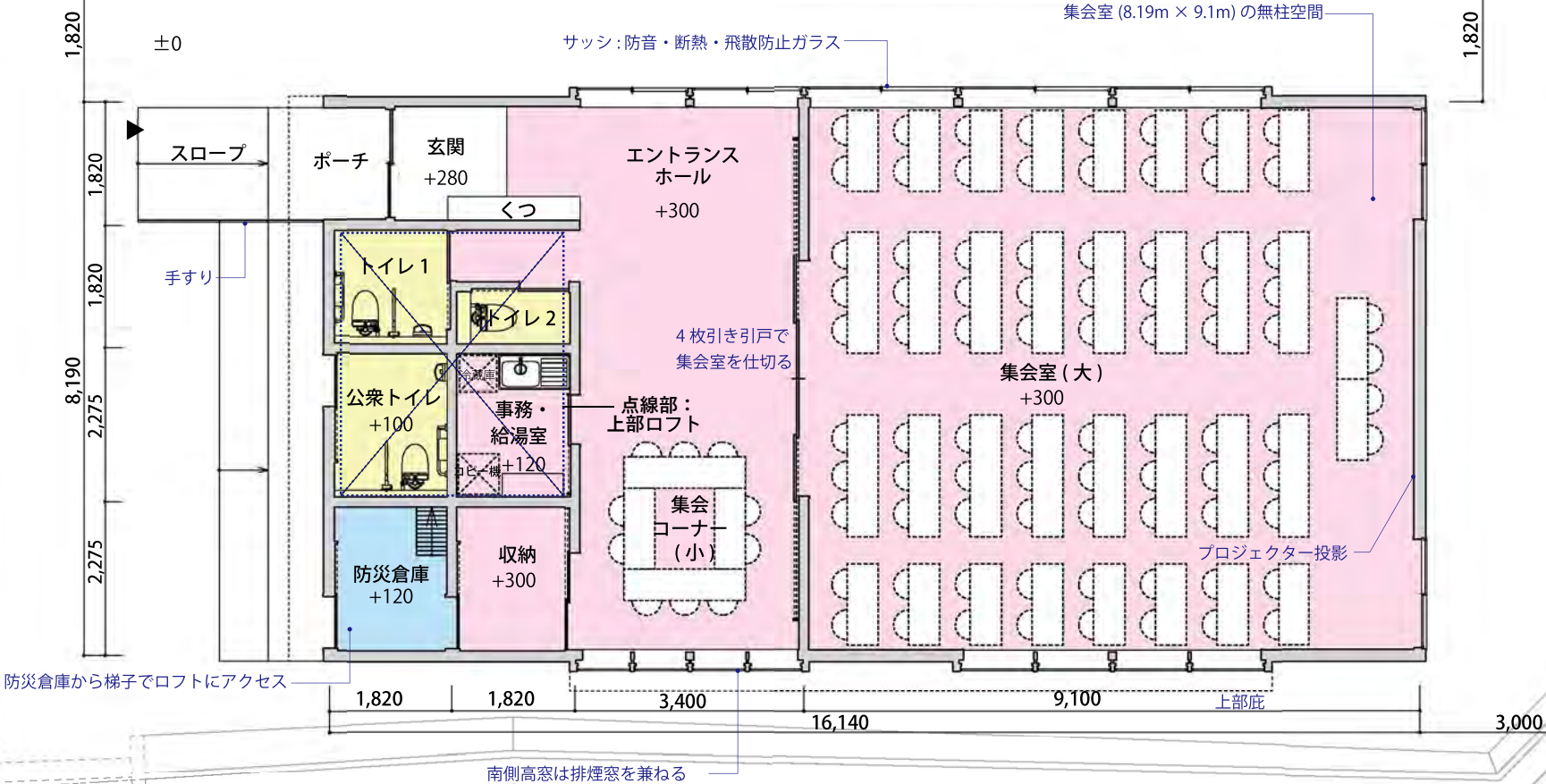
：集会コーナー（小）
少人数での集まりに利用
集会スペースは、少人数での集
まりに丁度良い大きさです。

：集会室（大）
大人数を受け入れ、様々な活動に対応可
・あらゆる活動に利用しやすい、天井の高い柱の無い
大空間です。
・机や椅子の配置によって、総会、陶朱会、子ども会
など様々な用途に対応します。
・使わない机や椅子は収納スペースに収納できます。



園路

配置・平面図 S=1:100



■建築概要

敷地面積：402.73㎡
建築面積：132.18㎡
延床面積：132.18㎡
：+ ロフト 14.90㎡
建ぺい率：32.82% ≤ 許容 40%
容積率：32.82% ≤ 許容 80%
建築規模：木造平屋建て

■主な仕上げ

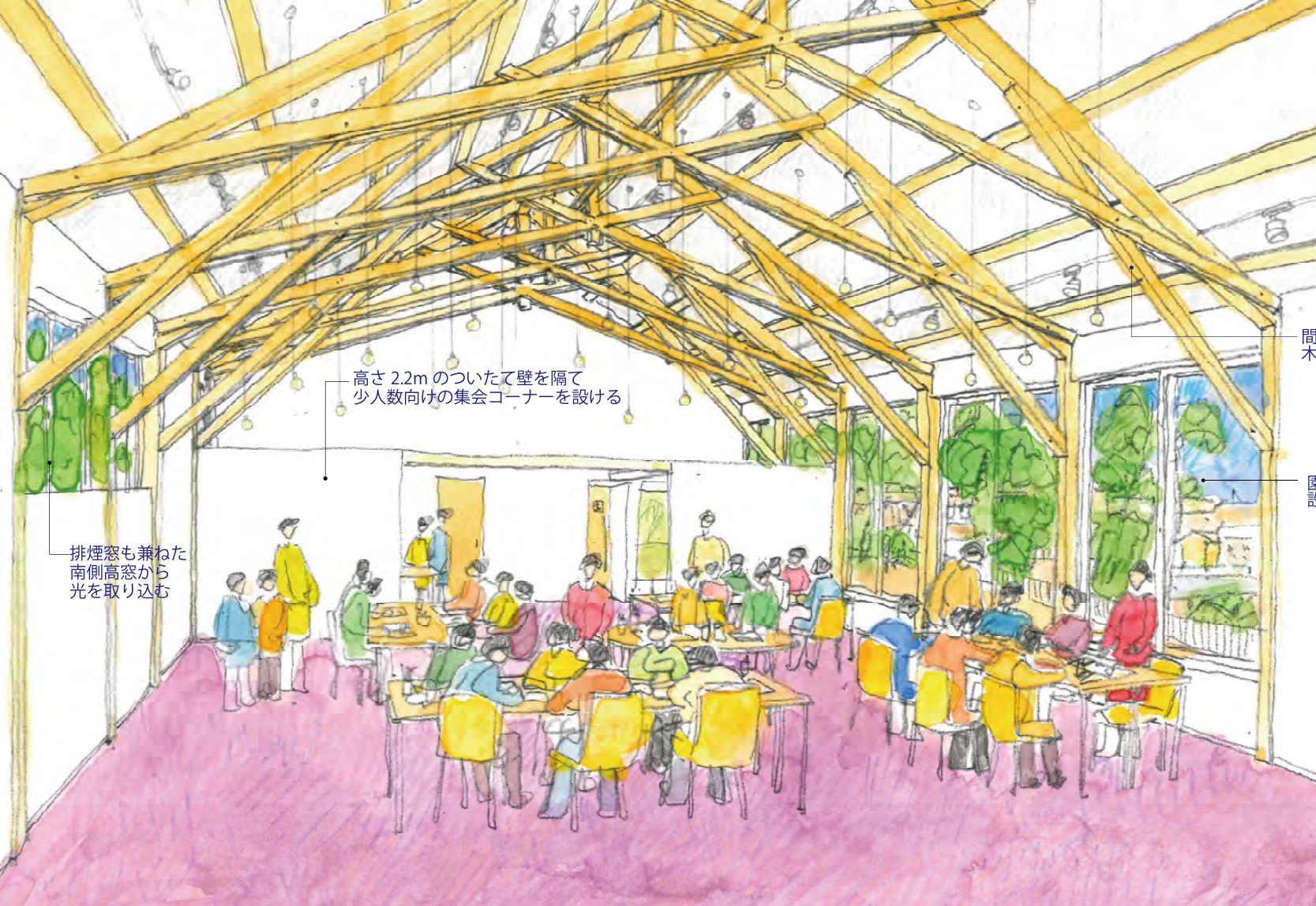
屋根：ガルバリウム鋼板（小波板）
外壁：ガルバリウム鋼板（小波板）
開口部：ペアガラス
（防音・断熱・飛散防止）
床：長尺シート
壁：ビニールクロス

■概算の総事業費

本体工事費	2526万円
設備工事費	684万円
外構工事費	80万円
諸経費	330万円
設計・監理料	470万円
消費税（10%）	409万円
総事業費	4499万円

■主要な設備

- ・空調 / エアコン
- ・防犯 / 防犯灯
- ・電気 / LED 照明



高さ 2.2m のついたて壁を隔て
少人数向けの集会コーナーを設ける

排煙窓も兼ねた
南側高窓から
光を取り込む

間口 8.19m の無柱空間を生み出す
木造トラス架構

園路に面した北側に大きな開口部を
設け光と緑を取り込む

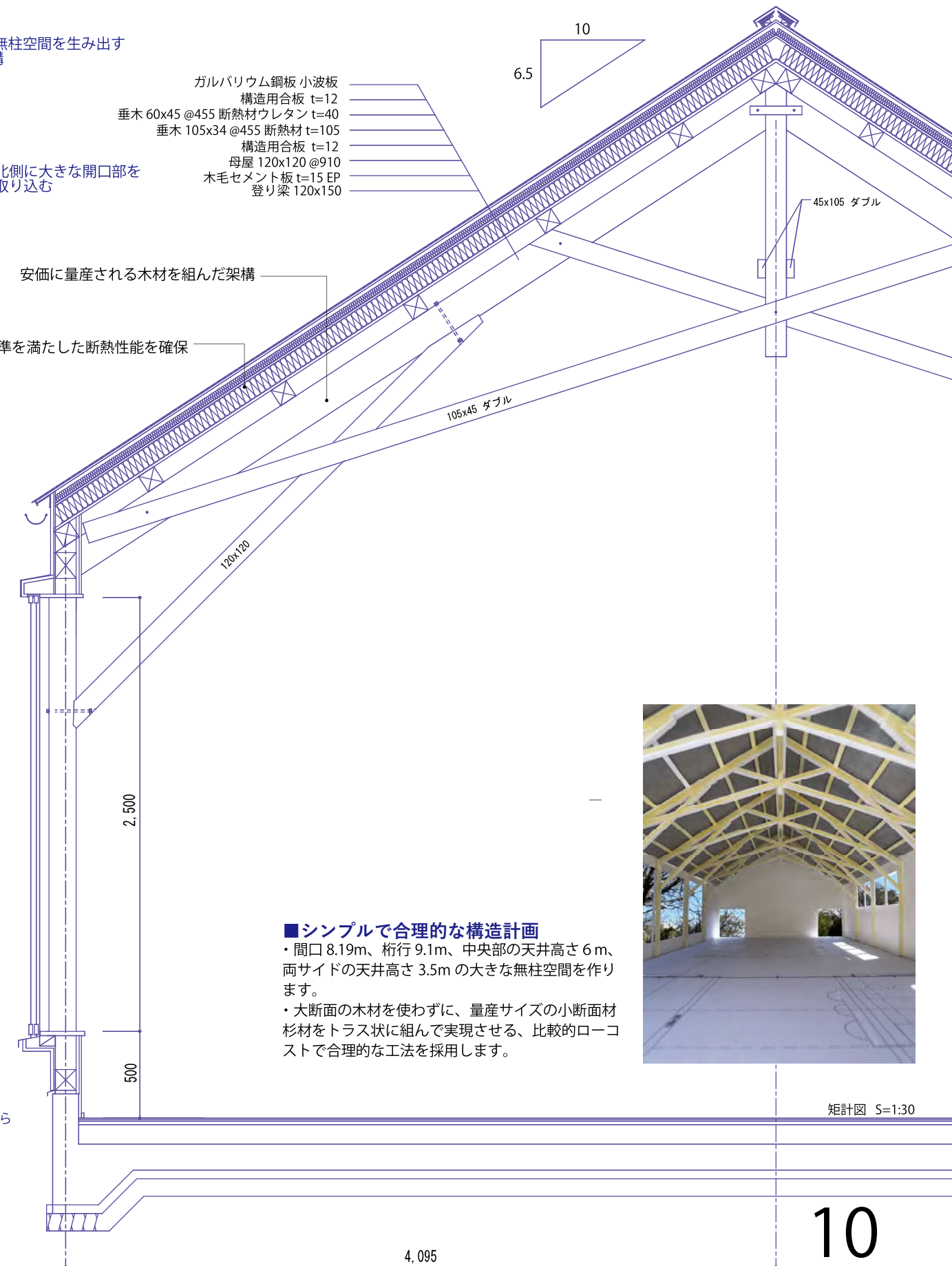
集会室（大）の様子

■経済性、施工性について

- ・木材については比較的安価な杉を採用し、コストの削減に努めます。
- ・特別な工法は使わず、在来工法で施工可能です。
- ・長方形のプランで切妻屋根の単純な形状とし、施工性、経済性を考慮した計画です。

■災害に強い建築

庁舎等と同等の耐震性を確保し、大地震が起きても安心して避難できる建築とします。



■シンプルで合理的な構造計画

- ・間口 8.19m、桁行 9.1m、中央部の天井高さ 6m、両サイドの天井高さ 3.5m の大きな無柱空間を作ります。
- ・大断面の木材を使わずに、量産サイズの小断面材杉材をトラス状に組んで実現させる、比較的ローコストで合理的な工法を採用します。



矩計図 S=1:30

